【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【公表番号】特表2020-516622(P2020-516622A)
【公表日】令和2年6月11日(2020.6.11)
【年通号数】公開・登録公報2020-023
【出願番号】特願2019-555180(P2019-555180)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　59/125　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/194　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/38　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　59/125　ＣＳＰＺ
Ａ６１Ｋ　31/194
Ａ６１Ｐ　1/16
Ａ６１Ｐ　3/06
Ａ６１Ｐ　3/00
Ａ６１Ｐ　9/10
Ａ６１Ｐ　3/10
Ａ６１Ｐ　3/04
Ａ６１Ｐ　7/02
Ａ６１Ｐ　1/18
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｋ　9/14
Ａ６１Ｋ　47/26
Ａ６１Ｋ　47/38
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｋ　9/20

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月8日(2021.4.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
レーザー光回折によって測定すると、４０μｍ～約７５μｍの範囲のＰＳＤ９０を有するゲムカベンの薬学的に許容される塩であって、約５０ｍｇ～約９００ｍｇの用量でヒト対象に投与すると、定常状態において約２００μｇ時／ｍＬから定常状態において約６０００μｇ時／ｍＬの範囲の血漿中ゲムカベンＡＵＣ$_{(0-24)}$を実現する、ゲムカベンの薬学的に許容される塩。
【請求項２】
レーザー光回折によって測定すると、４０μｍ～約７５μｍの範囲のＰＳＤ９０を有するゲムカベンの薬学的に許容される塩であって、ヒト対象への約５０ｍｇ～約９００ｍｇの単回用量投与後に、約５０μｇ時／ｍＬ～約７５００μｇ時／ｍＬの範囲の血漿中ゲムカベンＡＵＣ$_{last}$を実現する、ゲムカベンの薬学的に許容される塩。
【請求項３】
（１）２１０ｎｍの検出波長を使用する高速液体クロマトグラフィーによって測定すると、３７℃±５℃、ｐＨ５．０の酢酸カリウム緩衝液中で、４５分以内に少なくとも８０％、または（２）２１０ｎｍの検出波長を使用する高速液体クロマトグラフィーによって測定すると、３７℃±５℃、ｐＨ５．０の酢酸カリウム緩衝液中で、３０分以内に少なくとも７０％の％溶出値を特徴とする溶出プロファイルを有する、請求項１または２に記載の薬学的に許容される塩。
【請求項４】
カルシウム塩である、請求項１または２に記載の薬学的に許容される塩。
【請求項５】
肝疾患もしくは肝臓状態の異常を処置または予防するための医薬の製造における、請求項１から４のいずれか一項に記載の薬学的に許容される塩の使用。
【請求項６】
対象の血漿または血清における、対象の総コレステロール濃度、低密度リポタンパク質コレステロール濃度、低密度リポタンパク質濃度、超低密度リポタンパク質コレステロール濃度、超低密度リポタンパク質濃度、非ＨＤＬコレステロール濃度、非ＨＤＬ濃度、アポリポタンパク質Ｂ濃度、トリグリセリド濃度、アポリポタンパク質Ｃ－ＩＩＩ濃度、Ｃ反応性タンパク質濃度、フィブリノゲン濃度、リポタンパク質（a）濃度、インターロイキン－６濃度、アンジオポエチン様タンパク質３濃度、アンジオポエチン様タンパク質４濃度、ＰＣＳＫ９濃度、または血清アミロイドＡ濃度を低下させるための医薬の製造における、請求項１から４のいずれか一項に記載の薬学的に許容される塩の使用。
【請求項７】
障害または状態を処置または予防するための医薬の製造における、請求項１から４のいずれか一項に記載の薬学的に許容される塩の使用あって、障害または状態が、血栓症、血液凝塊、原発性心血管事象、続発性心血管事象、非アルコール性脂肪性肝疾患への進行、非アルコール性脂肪性肝炎、肝硬変　肝細胞癌、肝不全、すい臓炎、肺線維症及びＩＩＢ型高リポタンパク血症から選択される、使用。
【請求項８】
炎症を処置または予防するための医薬の製造における、請求項１から４のいずれか一項に記載の薬学的に許容される塩の使用。
【請求項９】
炎症が、患者の血漿または血清中のＣ反応性タンパク質の濃度向上によって示される、

請求項８に記載の使用。
【請求項１０】
ウイルス性疾患を治療するための医薬の製造における、請求項１から４のいずれか一項に記載の薬学的に許容される塩の使用。
【請求項１１】
前記ウイルス性疾患がインフルエンザである、請求項１０に記載の使用。